

福島県新産業人材育成方針(案)概要

令和8年1月 福島県産業人材育成課

- 目的
- 新産業の定義
- 期間

東日本大震災・原子力災害からの復興に当たり、平成29年（2017年）に国家プロジェクトとなった福島イノベーション・コースト構想の実現に向け、新産業の育成・集積を進めており、これらを支える産業人材の育成を関係機関が一体となって取り組む。
水素を含む再生可能エネルギー関連産業、医療関連産業、ロボット関連産業、航空宇宙関連産業、廃炉関連産業
令和8年度から令和12年度までの5年間

A. 産業別取組方針

求められる人材

- 電気主任技術者や電気工事士等に加え、運転管理・保守点検(O&M)におけるドローンの操縦技能を習得した人材
- 太陽光発電設備のリユース・リサイクルに係る各工程の技術や専門知識を習得した人材

- 化学、素材分野等に関する知見を持つ人材
- 高圧ガス保安法等の知見やガス事業に従事した経験を有する人材

- 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の規制を理解した人材
- 医療現場のニーズを捉えて問題解決策を生み出し、新たな価値を創造するバイオデザイン志向を持つ人材

- 航空機や無人航空機に関する知見や研究経験等を有する人材
- 無人航空機の国家資格である一等・二等無人航空機操縦士等の資格を持つ人材

- 国際認証規格のNadcap等に対応できる人材
- 宇宙スキル標準が定めるロケット等の研究・設計・開発に関する技術に対応できる人材

- 「計測・測定」「分析」「遠隔操作・機械設計」「耐放射線性」等の要素技術に対応できる人材
- 放射線管理、核物質防護に係るルール等を修得している人材

取組方針

- OFREAや福島大学等の研究機関と県内企業が連携して行う研究開発への支援を通じた技術力の向上と人材育成
- 県内企業のニーズに応じた太陽光発電研修の実施
- 風力を含めた発電設備の高度なO&M技術の専門人材の育成
- 太陽光や風力発電のトレーニングセンターを活用した即戦力人材の育成等

- 福島大学が行う水素関連プログラムの開講や水素・エネルギー関連コース設置などの人材育成を支援
- 県内企業のニーズに応じた水素の基本から専門的内容研修の実施
- 県内の高校生を対象に水素に関して学ぶ機会を提供等

- セミナー等を開催し、医療機器等に関する最新技術や政策動向等を県内企業に提供
- 医療機器の開発・製造等に必要な実践的なスキル習得講座等の実施
- 高校生・大学生等を対象に段階別の人材育成プログラムを実施等

- 会津大学などと県内企業が連携して行う研究開発、技術実証を支援
- 企業へ専門家を派遣し、法令面でのサポートを実施
- ロボット・航空宇宙フェスタ開催、福島ロボットテストフィールド等の見学を通して若年層のロボット分野への興味・関心を喚起等

- セミナーを開催し、最新技術や政策動向等の情報を県内企業に提供
- ロボット・航空宇宙フェスタの開催を通して若年層の航空宇宙分野への興味・関心の喚起
- 宇宙分野に関する教育プログラムに基づき、テクノアカデミーにおいて特殊加工技術に関する研修等を行い企業競争力を強化等

- セミナーを開催し、最新技術や政策動向等の情報を県内企業に提供
- ハイテクプラザが進める研究開発の成果を県内企業へ橋渡し
- 県内企業が取り組む技術開発や資格取得等を支援等

産業別研究会や協議会の活動

数値目標

- 再生可能エネルギー・水素関連産業の成約件数
令和12年度末 565件

- 再生可能エネルギー・水素関連研究実施件数
令和12年度末 1,595件

- 医療機器製造業登録事業所数
令和12年度末 104件

- 产学研連携によるロボット関連研究実施件数
令和12年度末 196件

- 航空宇宙関連産業認証取得件数
令和12年度末 42件

- 廃炉関連産業への参入支援による成約件数
令和12年度末 2,200件

B. 育成対象別取組方針

小・中学生

- ・技能尊重の機運醸成
- ・キャリア教育の推進
- ・小中学校における「キャリアパスポート」の作成・活用
- ・福島イノベ構想を支える人材育成

高校生、大学生等

- ・キャリア教育の推進
- ・新たな産業への興味・関心の醸成、集積に向けた人材育成
- ・福島イノベ構想を支える人材育成

企業在職者等

- ・若年技能者育成
- ・F-REIが行う企業の専門人材育成との連携
- ・福島イノベ構想を支える人材育成